



平成20年6月11日

各 位

会社名：住友精化株式会社
代表者名：社長 中本 雅美
(コード番号4008 東証・大証第1部)
問合せ先：取締役 原 昭一
TEL：06-6220-8515

中期経営計画に関するお知らせ

当社では、2011年3月期に売上高を750億円とする中期経営計画を策定し推進してまいりましたが、一年前倒しで達成できることが確実になってきました。

さらに2年前に計画を策定した時点と比べ、その後の急速な原材料の高騰、ならびに円高など取り巻く経営環境が大きく変化いたしました。

このために、今回中期経営計画を見直すこととし、前回2015年頃に売上高1,000億円規模の企業を目指すこととしておりましたが、今回新たに「成長を加速させる」ことで、2011年に売上高1,000億円、営業利益100億円を目標とした新しい計画を策定いたしました。

当社グループの目指す企業像は、① 成長分野に、特色のある新製品を上市し続ける研究開発型ケミカルカンパニー、② 世界に通じる技術で、グローバルニッチに事業を展開する高収益企業、③ 社会的責任を果たし、社員が誇りと生きがいを感じる会社、としており、この理念は今後も引き続き追求してまいります。

しかしながら、これらの目標と理念を実現する道筋としてより具体的に（1）ポートフォリオの是正——従来は収益源を吸水性樹脂事業に頼っていたが、他の事業セグメントをバランスよく成長させること、（2）海外事業展開の加速——今後の成長が期待できる海外市場で事業展開を充実し加速させること（3）重点品目の拡充と新製品の早期開発——慎重かつ大胆な資金や人員などの資源投入を行うこととしました。

この計画を達成するために

- （1）吸水性樹脂の第三の海外生産基地の構築ならびに製品の品質や機能の一層の向上
 - （2）硫黄含有化合物の増産と合理化による競争力の向上
 - （3）医薬関連製品の拡充と拡販
 - （4）機能性ポリマーや水溶性ポリマーの海外市場の開拓と海外生産基地の構築
 - （5）情報電子やアメニティー分野で独自の機能を有した製品の開発と早期上市
- 等に具体的な目標を定めて実施してまいります。

今回の新しい中期経営計画では、2010年までに約400億円の投資を実施するとともに、研究開発の促進と強化を図るため、研究人員および研究費を倍増いたします。また、今中期経営計

画では海外売上高比率が最終年度で56%となり、海外事業戦略の遂行が極めて重要となります。従って、グローバル人材の育成、海外経営支援体制の拡充ならびにリスク管理体制や内部統制の強化・拡充にも重点的に取り組んでまいります。

【 数値目標 】

(億円)

	2008年計画	2009年計画	2011年目標
売上高	700	780	1,000
営業利益	50	65	100
投資額	2010年までに累計400億円		
研究費	21	25	32

以 上